

IV 聴覚・言語障害, その発見と対策

田中 美郷*¹ 加我 君孝*¹ 大島 弘至*² 金子 豊*³
古賀慶次郎*⁴ 森田 訓子*⁵ 横山 俊彦*⁶

はじめに

3才児聴覚検診の取り組みの動向をできるだけ広い視野で把握するために、本年度はさらに、福島県(福島県立医大)、千葉県、神奈川県、奈良県(奈良県立医大)、和歌山県(和歌山県立医大)、岡山県(岡山大学)、愛媛県(愛媛大学)の地域の協力も得て、平成2年6月30日と平成3年2月16日の2回に亘り班会議を開き(於帝京大学医学部附属病院会議)以下のごとき成果を得た。

各地からの報告

1) 仙台市(金子 豊ほか)

仙台市では早くより聴覚に関するアンケートと tympanometry を3才児健診に導入してきた。システムとしては、まず県民だより健診の案内をだす。その結果保健所に来所したもの(受診率約85%)に、アンケート調査と tympanometry を行う。このデータを月2回開かれる判定委員会(耳鼻科医)が審査し、精検の必要なものを選別する。この場合、アンケートで聴力に問題があると思われるものはヒヤリングセンターへ、 tympanometry で異常あるものは診療所へ紹介される。

ことばのテスト絵本(日本文化科学社)を用い

たささやき声聴こえの検査によると、難聴でも高音域に障害がないものは検出困難な傾向がある。

この仙台方式は4月より全県的に行われる予定。

2) 福島県

福島市外の郡部1カ所を選んで、全員に tympanometry と耳鼻科医による視診をおこなった。

3) 埼玉県戸田市健康管理センター(森田訓子)

アンケートだけでは、難聴を取りこぼす。アンケート中「ことばがおかしいとおもいますか」は意味があいまいでわかりにくい。

4) 東京都(田中美郷, ほか)

東京都では衛生局がこの問題に関する専門部会を設けて(部会長; 田中美郷)、パイロットスタディを行ってきた。

(1) 第一次パイロットスタディ

方法: 検診に先立ち、アンケート、ささやき声聴き取り検査(6個の2音節単語よりなる絵シート利用)、指こすり音聴き取り検査を家庭で行ってもらう。保健所では耳鼻科医が参加して tympanometry と視診を行った。都内4保健所の協力を得て平成2年7~8月に実施した。

成績: 対象734名, 受診者618(84.2%)

*¹帝京大学医学部耳鼻咽喉科

*²八王子市大島耳鼻咽喉科医院

*³仙台市金子耳鼻咽喉科医院

*⁴国立小児病院耳鼻咽喉科

*⁵戸田市健康管理センター

*⁶大阪市鶴見保健所

診察結果(613名)

難聴の疑い	15(2.4%)
両側滲出性中耳炎	38(6.2%)
片側滲出性中耳炎	26(4.2%)
その他の異常	57(9.3%)
耳垢せんそく	97(15.8%)
異常無し	380(62.0%)

診察時耳鼻科医が要精検と判断したもの42名
(難聴の疑い47, その他17)

精密検査を受けたもの 39(92.9%)

難聴 8 (20.5%)	
両側感音難聴	1
片側感音難聴	1
両側伝音難聴	4
片側伝音難聴	1
言語発達遅滞	5(12.8%)
1名は上述の両側感音難聴	
運動性言語発達遅滞	1
滲出性中耳炎	13(33.3%)

5名は上述の伝音難聴

(2) 第二次パイロットスタディ

上述の結果をもとにアンケートの項目を必要最小限に減らし、かつささやき声による検査の絵を一部入れ換えて、家庭だけの検査だけで難聴を検出する方向で、再度パイロットスタディを行う予定である。

5) 神奈川県(松井道夫)

4才児聴覚検診が定着しているため、3才児検診には盛り上がりが見られない。

6) 千葉県(浅野 尚)

眼科と歩調を合わせて進めている。日耳鼻作成の手引きにあるアンケート項目は多すぎるので、8項目を減らした。既往歴の部分は健診全般にわたる問題なので省略。耳鼻科医が保健所

へ出向くことを原則にしている。問診, 視診, 絵カードによる聴覚検査を行う。精密検査担当者については希望者をつのった。

7) 大阪市(横山俊彦)

(1) 第一次スクリーニング

調査表および保健婦による検査(ささやき声, tympanometry)。147名に施行, 不合格53, 不成功7, 計60(40.8%)

(2) 第二次スクリーニング

耳鼻科医による視診。不合格22, 不成功8, 計30(20.4%)。これらのうち耳鼻科医と保健婦により要精検とされたもの5名(3.4%)。これらは大阪市小児保健センターへ: 異常なし2名, 耳管きょうさく2名, 未来院1名。

8) 和歌山県(加藤 寛)

和歌山市では、耳鼻科医が参加してパイロットスタディ(含tympanometry)を行った。

第一回 平成2年11月7日: 受診・診察53名

第二回 平成2年12月13日: 受診139名

方法: 東京方式に準ずる。ただしささやき声による検査用の絵は一部入れ替えた。2回目のパイロットスタディでの受信者139名中アンケート・家庭での検査で異常のあったもの33名, アンケート未記載26名, tympanogram 以上7名の計76名を耳鼻科医が診察。

9) 奈良県

一次検診はアンケートのみ。二次検診は、保健婦が再度アンケート調査tympanometryは保健婦がこれを行う予定。精密検査は県立リハビリセンターで行う。

10) 松山市(愛媛県)

問診表, tympanometryを全員に行い, 異常のあるものは県センターへ精密検査を依頼。耳鼻科医が診る。

成績

	第一回 P.S. (N=53)	第二回 P.S. (N=139)
難聴の疑い	0	0
滲出性中耳炎	5 (9.4%)	13 (9.4%)
耳垢栓塞	8 (15.1%)	18 (12.9%)
その他	9 (17.0%)	14 (10.1%)

アンケート

	難聴 ?	両中耳炎	片中耳炎	その他	耳垢	正常
中耳炎の反復		2				3
返事せず	1		1	1	2	2
聞き返す			1	2	2	8
言葉の遅れ						8
発音の障害						3

ささやき声の検査(犬, 馬, かに, 象, 花, バナナ)

得点	難聴 ?	両中耳炎	片中耳炎	その他	耳垢	正常
6点	0	6	4	6	15	53
5点	0	0	1	3	2	3
4点以下	0	2	0	2	0	1

指こすり音の検査

聞こえる	0	8	5	11	17	55
聞こえない	0	0	0	0	1	0

耳所見

	TYMPANOMETRY			合計
	正常	異常	非協力	
正常	121	39	8	168
異常	3	44	1	48
耳垢	14	28	0	42
計	138	111	9	258

まとめ

3才児検診は、厚生省及び日本耳鼻咽喉科学会が作成した手引きを参考に、全国的に試行錯誤が重ねられている。

検診方法はアンケートを基本にして、これにささやき声聴取検査、指こすり音聴取検査、さらにはインピーダンスオーージオメトリなどを組

み合わせて試みているところがある。

聴覚検診に耳鼻科医が積極的に参加しようという姿勢のところもあれば、その正反対のところもあり、同じ県内でも都市部はよいが町村レベルでは、耳鼻科医がいないところが多く、このような事情の中で普遍的かつ効果的な方法を見いだすには、更なる研究が必要である。

また、精密検査に当たって、その任に当たる耳鼻科医の選択も必要となる。千葉県では、医師会が希望者を募ったとのことである(浅野尚)が、滲出性中耳炎の治療はともかく、聴力の精密検査には幼児難聴や幼児聴力検査の知識および経験のある者が求められる。しかし現実には、このような耳鼻科医は数が極めて限られ

ていて得がたい。これは耳鼻咽喉科医が自分自身の問題として解決を考えなければならない。

一方、難聴があって治療教育にゆだねる必要のある者にたいしては、障害の程度に応じたサービスが必要になる。この面の整備も急がねばならない。

3歳児聴覚検診のお知らせ

3歳児の聴覚検査一式をお送りしますので、ご家庭で検査をしてみてください。結果はアンケート用紙に記入して3歳児健診の日にお持ちください。

検査の必要性

子どもの聴力障害は、重度のものであれば親や周囲の者が気づくので比較的早期に発見されやすいのですが、軽度の場合は発見されにくく、放っておくことばや心身の発達に大きな影響を及ぼします。

3歳児は同じ年ごろのお友達とのお付き合いも始まる時期でもあります。ぜひ検査をして子どもの耳の状態を確認しておきましょう。

【検査の時に注意すること】

なるべく外を自動車などが通っていない時をみはからい、テレビやラジオを消してお部屋を静かにしてから検査をしてください。

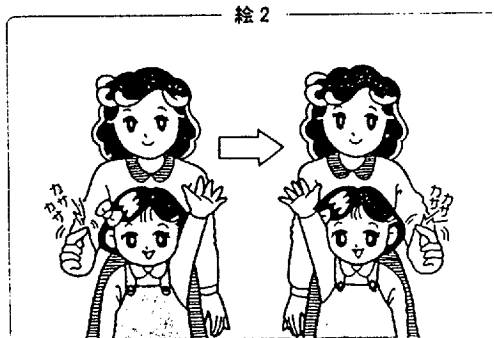
検査の方法

1 ささやき声による聞こえの検査……………絵1

- ① 子どもと親がテーブルをはさんで、1mぐらい離れて向かいあいます。
- ② 子どもに別添の絵シートを見せながら「モーモーしさん！」ではなく「うし」というように、絵シートのとおりの呼び方を教えます。
- ③ 親は口元を手で隠して、「いぬ」とささやき声でたずねます。
声の大きさは、息を出すだけの感じで、ないしょばなしのようにささやきます。
- ④ たずねるのは1回だけとし、子どもが聞こえたら指さしか○を書かせます。
正しく聴きとれない場合には、その絵に×をつけてください。

2 指こすりによる聞こえの検査……………絵2

- ① 親は子どもの後ろに位置します。
- ② 親は子どもの耳のま横5cmぐらいのところ、親指と人さし指を5～6回こすります。
- ③ 子どもが聞こえたら、手をあげさせるようにします。
- ④ 最初は右、次に左というように、交互に行います。



3歳児聴覚検診アンケート

検診日 平成 年 月 日

幼児氏名 _____ 男・女 生年月日 昭和 年 月 日

次の項目のうち、あてはまる項目を○で囲んでください。

1. 今までの病気や耳の聞こえ・ことばなどについて

- 1 家族の方に耳のきこえが悪い人がいますか。 はい いいえ
 (お子さんの父母・兄弟姉妹について)
- 2 今までに中耳炎で耳鼻科にかかったことがありますか。 はい いいえ
 (1) 何回くらいかかりましたか。 回
 (2) 最近はいつ頃かかりましたか。 年 月頃
- 3 呼んでも返事をしないことがありますか。 はい いいえ
- 4 言葉がおくれていると思いますか。 はい いいえ
- 5 話しことばがおかしいと思いますか。 はい いいえ

2. お子さんの耳の聞こえの検査の結果について

下記の□の中に、聞こえていれば○、聞こえていないようなら×、わからない場合は△をつけてください。

(1) ささやき声の検査

いぬ	うし	かさ	ぞう	ねこ	いす

(2) 指こすりの検査

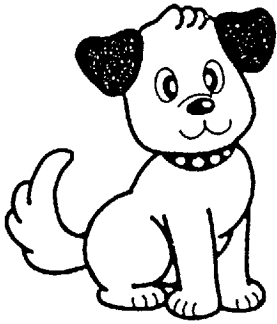
右耳	左耳

御協力ありがとうございました。

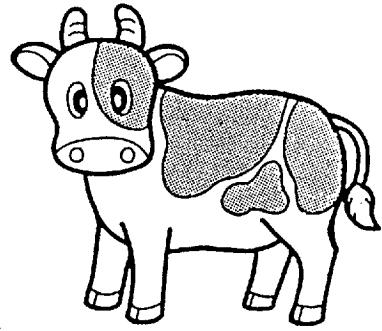
- 指示
- 1 特になし
 - 2 経過観察
 - 3 要精密(紹介先)
 - 4 その他

絵 シ ー ト

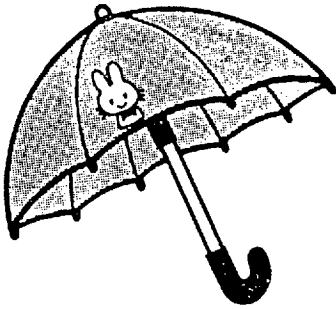
いぬ



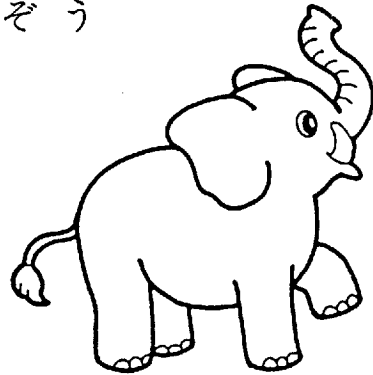
うし



かさ



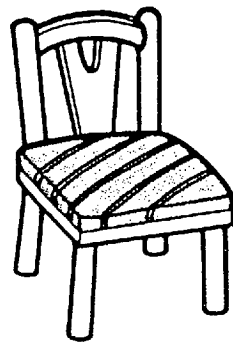
ぞう

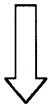


ねこ



いす





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

3 才児聴覚検診の取り組みの動向をできるだけ広い視野で把握するために、本年度はさらに、福島県(福島県立医大)、千葉県、神奈川県、奈良県(奈良県立医大)、和歌山県(和歌山県立医大)、岡山県(岡山大学)、愛媛県(愛媛大学)の地域の協力も得て、平成2年6月30日と平成3年2月16日の2回に亘り班会議を開き(於帝京大学医学部附属病院会議)以下のごとき成果を得た。